

**令和6年度 第1回 国指定史跡東京湾要塞跡整備委員会
議 事 録（抄録）**

日 時 令和6年（2024年）8月6日（火）10時00分～12時00分

場 所 横須賀市役所302会議室

参加者

委員	後藤 治（委員長）	：工学院大学理事長 工学院大学総合研究所教授
	荒木良子	：市民公募
	大内田史郎	：工学院大学 建築学部建築デザイン学科教授
	小野田滋	：公益財団法人鉄道総合技術研究所 情報管理部 担当部長
	蒲谷衛一	：市民公募
	鈴木 淳	：東京大学大学院人文社会系研究科 教授
	松井敏也	：筑波大学 世界遺産専攻 保存科学 教授
事務局	横須賀市教育委員会教育総務部長 古谷 久乃	
	教育総務部生涯学習課	
	課長 杉山賢一、主査 川本真由美、主任 磯口健太郎	
	建設部公園管理課 係長 青木 修、担当者 福田 航大	
	建設部公園建設課 主査 木村 健	
オブザーバー	神奈川県教育委員会文化遺産課 萩原主事	

1. 開会

委員長挨拶

2. 審議

【猿島砲台跡隧道修理実施設計について】

事務局から基本設計概要と実施設計作成のスケジュール説明

○指摘事項

（亀裂補修について）

後藤委員長 無収縮モルタルといっても全く収縮しないわけではない。どこかでヘアラインクラックも生じる。強度を落とす方法は煉瓦の粉を混ぜるなどもある。

松井委員 天井への充填は硬化のスピードも施工計画に反映したほうが良い。

（煉瓦表面保護）

松井委員 表面の薬剤による保護は、できれば煉瓦が乾燥している時期の施工が良い。今まで試験などからは気質強化系がいいように考えているが、試験をしてからということなので、その結果を待ちたい。

後藤委員長 煉瓦壁表面保護は、漆喰がベストであるが、漆喰は水に弱い性質があるため、（漏水している）この隧道では無理だ。

(弾薬元庫妻壁)

後藤委員長 ネットは、ひっぱり強度が強くて安価なものが良い。漁網みたいなものがないのではないかな。

松井委員 S T K ネットというものもある。検討してはどうか。

県教委 小田原市の整備で石垣にネットをかけた事例があった。

(排水工事)

後藤委員長 ゲリラ豪雨も発生する。排水工事はどうしてもイタチごっこのようになりがちだが、近年の天候不順も考慮に入れたほうが良い。

鈴木委員 過剰な工事にならないよう検討してほしい。

(漏水対策)

小野田委員 強制排水より先に地上部分の防水処置を行う、という順番で良いかな。

事務局（公園建設課） はいそうです。

松井委員 水戸徳川家の墓地ではベントナイトを使用している。猿島の地上部分に遮水シートを敷き詰める方法は、シートの耐用年数を考慮すると交換が大変ではないかな。

(施工計画)

蒲谷委員 冬場は悪天候のため船が出ないこともある。タイトな工期は難しい。

後藤委員長 物によっては工事後も残置し、公園の維持管理に使用できる物もあるのではないかな。その場合は、現地に置いていくなども視野に入れていいのかもしれない。搬入にかかる日数と撤収にかかる日数が異なることもあるだろう。

(全体を通じて)

後藤委員長 B I M（ビム、ビルディング インフォメーション モデリング）という仕組みがある。隧道はこのB I Mが向いている。3次元のデジタルデータをモデルにして、工事の設計や施工、維持管理まで情報を集約する。今後このような手法を検討してみるのもいいのかもしれない。

小野田委員 横須賀は市域に隧道が多いので、いずれこの話も出るのではないかな。

蒲谷委員 猿島は来島者が増えて弾薬庫内を見学するガイドツアーも人気である。人がたくさん入ることによる影響はないかな。

松井委員 環境として問題はないが、出入り口の部分が擦れるのでマットを敷くなどあってもいいのではと思う。

2. 報告

事務局より、猿島砲台跡の塁道笠石撤去、同切通定点測量、切通部の地形測量結果について報告を行った。

以上をもって終了。